

asiage アジアーヂュ vol.2 平成18年10月1日発行
発行:九州国立博物館

Exhibition Schedule

プライスコレクション

若冲と江戸絵画

2007年1月1日(月)～3月11日(日)

江戸時代の個性豊かな画家の作品に目を奪われたジョー・ブライス氏のコレクションを紹介。「奇想の画家」として近年注目を浴びている伊藤若冲や長沢蘆雪、酒井抱一をはじめとする江戸琳派などの名品は、既成の江戸絵画イメージを変える力強い魅力にあふれています。



鳥獣花木図屏風(右隻) 伊藤若冲 筆
※期間中展示替えがあります。

好*触
触れてみよう

あじっば通信

アジアを中心とした国々の文化や歴史を、見たり触ったりしながら体験できる展示室「あじっば」からのお知らせです。

インドネシアの遊びを体験してみよう!

日本を含めたアジアの年間行事や、伝統文化を紹介しているあじっば内の「あじ庵」では、10月からインドネシアをテーマにした展示を行います。

ジャワ島などで行われる伝統的な影絵芝居「ワヤン・クリッ」は、人形ワヤンの芸術的な美しさと、スクリーンに映し出されるシルエットを楽しめます。牛の皮で作ったワヤンは、細かい穴が開けられ、鮮やかな彩色が施されています。

また、インドネシアで作られているろうけつ染めの布「パティック」を展示し、製作



工程を道具と併せて紹介します。そのほか、あじっばで人気のゲーム「ダゴン」を体験できます。

ぜひ、あじっばへ遊びに来てくださいね!



ワヤンをスクリーンに映すと...



こんな風にシルエットが現れます



【国宝】黄金の指輪
沖ノ島祭祀遺跡出土(福岡・宗像大社)
展示期間:10/8～22

1st anniversary
女神の指輪サイズは18号!?

■観覧料(特別展は別料金)

一般:420円(210円)

高校生・大学生:130円(70円)

※()内は20名以上の団体料金

■特別展「海の神々」観覧料

一般:1,300円(1,100円)

高校生・大学生:1,000円(800円)

小学生・中学生:600円(400円)

※()内は前売り、20名以上の団体料金

*身体障害者とその介護者1名は無料。入館の際に身体障害者手帳等をご提示ください。

*中学生以下、70歳以上の方は、文化交流展示については無料。

入館の際に年齢の分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください。

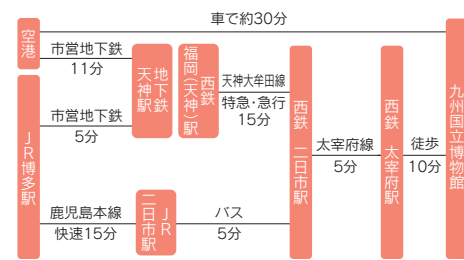
*特別展「海の神々」の観覧料で、文化交流展示もご覧いただけます。

*満65歳以上の方は、特別展「海の神々」の()内料金でご入場いただけます。

入館の際に年齢の分かるもの(健康保険証、運転免許証など)をご提示ください。

*特別展「海の神々」の開催期間は10/8(日)～11/26(日)です。

■交通案内



駐車場(有料)に限りがあります。ご来館の際は公共機関をご利用ください。



九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

☎案内 ハローダイヤル 0570-00-8886

http://www.kyuhaku.jp

■開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

■休館日 月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)
※10/9・10/10は開館

特集
海の神々 - 捧げられた宝物 -

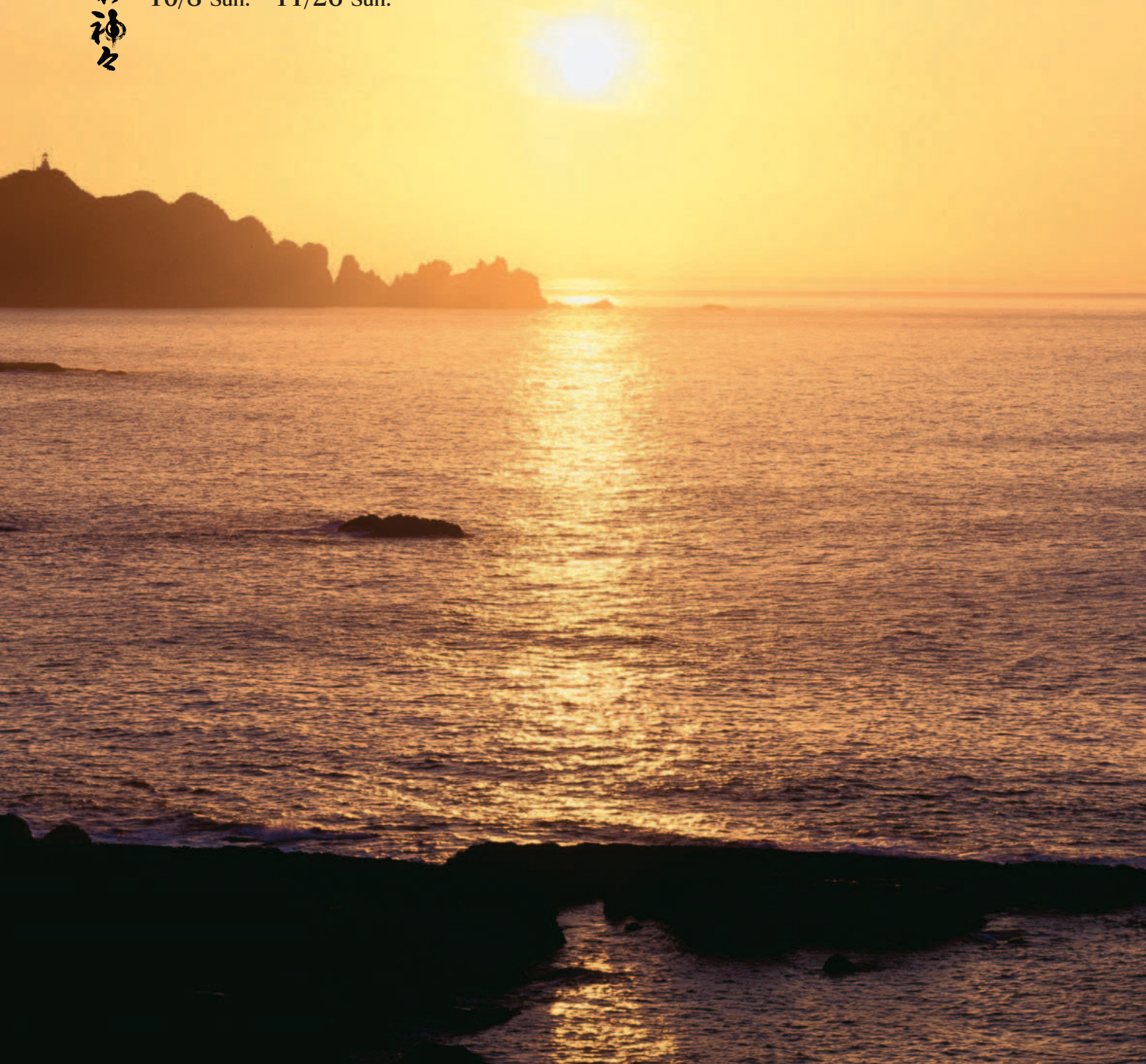
02

女神の指輪サイズは18号!?

直径2センチ、厚さ1ミリの大きな金の指輪は宗像三女神の石柱・タゴリヒメをまつる沖ノ島からの出土品です。古墳時代に大陸よりもたらされた、最高の工芸品といえるでしょう。日本では古より海上交通の安全を祈って、海の神々をまつってきました。そして人々は祈りとともに、至高の宝物を捧げてきたのです。

海の神々

10/8 Sun.~11/26 Sun.



海の神々よ、
集まったもれ〜



九州国立博物館長
三輪嘉六
考古学・文化財学専攻。文化庁調査官、鑑査官など文化財保護畑を渡り歩く。2005年4月より現職。「本職は釣り人」と言うほどの大の釣り好き。全国の海や川で釣りに励むその姿に、海神様も微笑を浮かべる!?



好*聴 三輪嘉六館長に、
聴いてみよう! 「海の神々—捧げられた宝物—」の魅力を引きました。

1周年ですよ。神様、全員集合!

当館は10月16日で開館1周年を迎えます。今年の夏には、おかげさまで入館者総数200万人を超えました。このように大勢の人々に来ていただいたことは誠に嬉しい限りですが、1年を振り返ると反省すべき点もありました。訪れる人にゆとり楽しく見られる博物館づくり、全ての面でアメニティな環境づくりを追求せねばとあらためて感じます。それには初志である“市民と共生する博物館”をいかに貫くかが重要な要素です。

1周年記念の特別展「海の神々」はまさに、市民の皆さんに神様たちと交わっていただきたいという思いで開催します。

10月は神無月といって全国の神様は出雲大社に集まりますが、海の神様だけは当館に集合し、1周年を見守っていただきます。ぜひ、神様に会いに来てください。



木で編まれたような館内の天井が、ぬくもりを感じさせる。

日本初! 海の神様の宝物が一堂に

周囲を海で囲まれた日本では、古より人々の生活は海と深く関わってきました。海の幸、生命の源である母なる海、外海との交易を榮えさせた海。

しかしその反面、一歩間違えば命を奪うという怖さも持ち合わせていました。そこで人々は、海に住む神霊を守護神としてまつったり、海上交通の神様に安全を祈願したのです。海神様の役割は時代とともに変遷しますが、神々に捧げられる宝物は、どの時代を見ても当時の最高の素材と技術を施したものでした。興味深いことに、福岡の沖ノ島と伊勢の神島では、多量の銅鏡が奉納されているという共通性を見ることができます。

最高の品を捧げる、そこには海神様への信仰心の強さが表れています。その気持ちのこも



三島由紀夫作「潮騒」の冒頭にも登場する64面の銅鏡。
【重文】伊勢神島祭祀遺物 <三重・神島八代神社>

った宝物を、神官や氏子たちが何代にもわたって大切に守り続けてきたのです。

本展では海神へ捧げられた宝物を全国から集めました。長い年月を経て大切に受け継がれた時代時代の最高傑作から、神々に寄せる人々の熱き想いが感じられることでしょう。

海越え波越え、交わる文化

中国の沿海民から絶大な信仰を集める「媽祖(まそ)」という航海の女神がいらっしゃいます。九州でも、鹿児島や長崎などかつて中国貿易商たちの活動が盛んだった地域には媽祖像が伝来し、今も篤く信仰されています。日本ではほとんど紹介されることがありませんが、本展では媽祖様にもお越しいただきます。海を越え日本とアジアをつなぐ「交流」をコンセプトのひとつとしている九博らしい展示といえます。

このように本展では、海があったからこそつな



長崎ランタンフェスティバル(毎年2月開催)では江戸時代の風習を再現した媽祖行列を行っている。媽祖<長崎・興福寺>

がった九州とアジアとの文化交流の歴史もすっかりお伝えしていく所存です。多くの方のご来館を心よりお待ちしております。

好*見
見てみよう

「海の神々―捧げられた宝物―」 展示品ダイジェスト



航海の神に捧げた ゴージャスなお経

【国宝】
平家納経(へいけのうきょう)
平安時代・12世紀<広島・厳島神社>
平家一門による写経と、厳島神社への篤い
信仰が記された願文を合わせた33巻。当時、
写経を美しく装飾することが流行っていた。
展示期間:
10/8~15
願文(がんもん)1巻
10/17~29
提婆達多品(だいぼだたほん)1巻
10/31~11/12
普門品(ふもんほん)1巻
11/14~26
妙莊嚴本事品
(みょうじょうごんのうほんじほん)1巻
※写真は提婆達多品

「その姿、超レア! 牛にまたがる神様」



【重要文化財】
息長帯姫像(おきながたらしみめぞう)と
虚空津比売命像(そらつひめのみことぞう)
鎌倉~南北朝時代・14世紀<福岡・八幡古表神社>
八幡古表神社の祭神・オキナガタラシヒメ(神功皇后)と妹のソラツヒメノミコと
伝えられる。神像の珍しい姿は異彩を放っている。

「渦巻く波をあらわした 中国風デザイン」

【国宝】
海鏡鏡(法隆寺献納宝物)
(かいきぎょう)
奈良または唐時代・8世紀<東京国立博物館>
背面に波の渦巻きや山岳、鳥獣人物の文様を施し、中国の
神仙思想に登場する仙境、蓬莱山を表したとも考えられて
いる銅製の鏡。



【重要文化財】
舞楽面(綾切)
(ぶがくめん あやぎり)
平安時代・12世紀
<大阪・住吉大社>



【重有民】
アコーディオンとオルゴール
近世・19世紀
<島根・美保神社>



【重要文化財】
蒔絵手箱 蓬菜文
(まきえてばこ ほうらいもん)
室町時代・16世紀<鹿児島・枚聞神社>



奉納陶磁器とその写し
14~16世紀・19世紀
<鹿児島・鹿児島神社>



【重要文化財】
斎場御遊祭具(せいふあうたきさいく)
第二尚氏時代・17世紀末~18世紀
<沖縄県南城市教育委員会>

好*聴

『七福神』は多国籍の神様だった!?

家内安全、商売繁盛、健康長寿、縁結び...と人の
願望はさまざま。こうした人々の願望に応える神様とし
て信仰の対象になったのが、宝船に乗った『七福神』
です。昔から日本人に馴染みの深いこの神様は、漁業
や商売の神である「恵比寿」に、インドから中国を経て

伝わった五穀豊穡の神「大黒天」と財福の神「弁財天」
が加わり、さらに、室町時代にかけて「毘沙門天」「布袋」
「福祿寿」「寿老人」のそれぞれ異なる四神が加
わったものと考えられています。ちなみに、日本生まれ
の神様は「恵比寿」だけで、それ以外はすべて中国や
インドから渡りてきた神様がミックスされているのです。
なんと島国日本らしい信仰だと思いませんか?



恵比寿像<個人蔵>

みんなも参加しよう!

九州国立博物館 開館1周年記念イベント

好*聴 好*見 好*触

コンサート・舞台

10月7日(土)・11月11日(土)
13:30~15:30
ガムランワークショップ
インドネシアの伝統楽器
“ガムラン”を体験演奏できる
ワークショップ
1F エントランスホール



10月9日(祝)①13:00~、②15:00~
ミュージアムコンサート
ハーブ・ヴァイオリン・シンセサイザーによるミニコンサート
1F エントランスホール

要整理券

10月14日(土)12:30開場 13:00開演(15:15終演予定)
九博能
世界遺産にもなっている“能楽”の源流と
いわれる作品「翁」を公演
1F エントランスホール、ミュージアムホール
※当日9:30から館内で整理券(300枚)配布



10月15日(日)
アンサンブルアジアコンサート
日中の演奏家による民族楽器
(三味線、中国箏、二胡など)の
アンサンブル
1F エントランスホール、ミュージアムホ
ール 他

10月28日(土)13:30~16:30
九博朝日寄席「大バトル! ほかほか真打三人衆」
若手真打3名による落語会
1F ミュージアムホール
チケット 1,500円(全席自由)
※チケットぴあ(主要プレイガイド、
ファミリーマート他)にて発売中



左から林家久蔵、柳亭左龍、柳家甚語楼

好*触 好*味 好*香

大会・フォーラム

九州の宝御膳を
食べてみよう!



10月29日(日)~11月5日(日)
食文化は語る。
~アジアと九州の交流~
「九州宝御膳 収穫祭」
一年間募集してきた“未来に残すふるさと九
州の新たな味わい”を期間限定で販売
主催:九州国立博物館、西日本新聞社
特設レストラン
関連展示:文化交流展示室、あじっば
※10月30日(月・休館日)を除く

好*触 好*聴

シンポジウム・講演会

10月3日(火)13:00~16:30
環境建築セミナー
「人と環境の間に―新しいかたちの博物館―」
当館の設計者による講演、パネルディスカッションなど
主催:(財)ヒートポンプ・蓄熱センター・九州国立博物館
1F ミュージアムホール

10月23日(月)13:30~17:00
九州国立博物館開館一周年のつどい
森弘子氏(太宰府発見塾長)による講演と
開館一周年によせた座談会
1F ミュージアムホール

開館1周年を記念して
文化交流展示室を
無料で鑑賞できるよ!

10月24日(火)13:30~17:00
文化庁 第4回国際文化フォーラム
「美術と文化―美術館・博物館の連携と異文化交流―」
パネリスト:高階秀爾(大原美術館長)、三輪嘉六(当館館長)、
フランソワーズ・カシャン(フランス国立美術館総局長)、
ジャン・ドリス・マランデル(ロサンゼルス・カウンティ美術館学芸部長)、
李仁淑(釜山博物館長)
1F ミュージアムホール

10月29日(日)10:00~17:00
国際シンポジウム「博物館教
育の活性化へむけて~アジア
の博物館教育の現場から~」
ゲイル・タービン(英国国立ビクトリア&アル
バート美術館)氏による基調講演とパネルデ
ィスカッション 他
参加予定:韓国国立中央博物館、
シンガポール国立歴史博物館、
台湾国立故宮博物院、タイ・バンコク国立博物館
1F ミュージアムホール



好*聴 好*見

特別展「海の神々」に関する
講演やイベント

10月21日(土)14:00~
特別講演「対馬の天道と海神」
真弓常忠(大阪 住吉大社宮司)
1F ミュージアムホール

11月11日(土)14:00~
対談「媽祖(まそ)―中国生まれの航海の女神を語る―」
松尾法道(長崎・興福寺住職)、藤田明良(天理大学教授)、
楠井隆志(当館展示課主任研究員)
1F ミュージアムホール

11月19日(日)予定
特別奉納
神相撲九博場所「八幡古表神社の細男舞・神相撲」
細男舞・神相撲保存会

※このほかにも、開館1周年を記念した様々なイベントを計画・実施の予定です。
※「九博朝日寄席」「九州宝御膳」以外は無料です。
※このページの写真はすべてイメージです。



ウハッピー
ウェディング

1st アニバーサリー
祝う。

好*見
見てみよう

おかげさまで、開館1周年。感謝を込めて、今回は「おめでたい」意味合いを持つ祝いの品々をご紹介します。皆さまにも幸福が訪れることを願いながら……。

婚礼用ベッド
中国・清時代・19世紀
＜本館所蔵＞

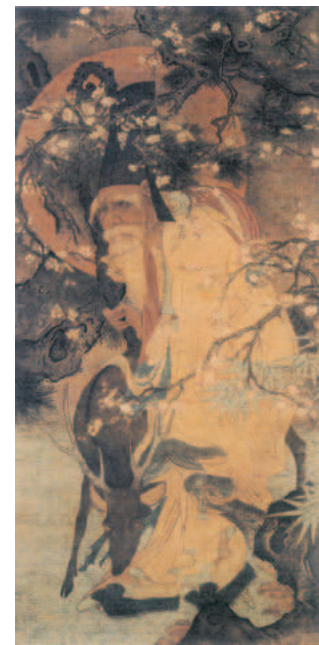
かつて中国では結婚式に先立ち、花婿が夫婦の部屋に寝台を運び込むという習慣があり、裕福な家の花婿はそのために寝台を新調しました。鹿やこもり、魚や蓮の花など吉祥や子宝の象徴が随所に装飾された豪華なベッドで、新郎新婦はさぞや幸せな眠りについたことでしょう。



長星の化身
願いに、

梅潜寿老図
＜東京国立博物館所蔵＞

雪舟直筆のホンモノ。寿老は、古来より吉祥画として数多く描かれるテーマです。本図では、背後に丸い後光が差し、寿老が人の運命を司る南極星の化身であることが示されています。この機会に九博と一緒に、不老長寿をお願いしてみませんか？
展示期間：'06.12/12～'07.1/28



踊る人

古墳時代・6世紀＜東京国立博物館所蔵＞
古墳時代、墓を建立する際の儀礼の一つとして、墓の周辺に家や馬、踊る人や祈る人を模した埴輪を立て並べ、新王の治世が豊かな時代となるよう祝ったと考えられています。まさにこの埴輪は「お祝いだ！」と、歓喜を体現しているようです。

紺紙銀字華嚴経二月堂焼経
奈良時代・8世紀＜本館所蔵＞

仏陀が悟りを開いたことを記した「華嚴経」。本経は、東大寺の大仏（盧舎那仏像（るしゃなぶつぞう））の開眼を祝って供養会で読まれたものともいわれます。東大寺二月堂の火災での焼失を奇跡的に免れ、料紙に焼損があることから「二月堂焼経」、また今も白く輝く銀字から「プラチナ経」との別称を持ちます。
展示期間：9/12～10/29

九博開館1周年、

文化交流展示室MAP



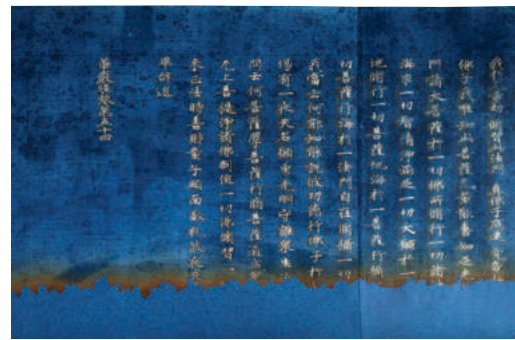
積奠祭器

江戸時代・19世紀
＜東京国立博物館所蔵＞

江戸時代の藩校では、儒教の祖・孔子を祀る祭典「積奠」を行っていました。祭器のほとんどは酒器や穀物の櫃、肉鍋など食事の道具で、中に実際の食物を入れて祭壇に捧げました。年に2度開かれる積奠は、学問する身に気合いを入れるための行事でもありました。

祖を祝い、
己が身を
引き締める

奈良・東大寺
開眼を祝った
お仏の



好*聴
聞いてみよう

研究員と話そう

東西文化のハーモニー

～刺繍ベッドカバー～

日本やほかのアジア諸国と違い、中国では古くからベッドが定着していましたが、この刺繍ベッドカバーは中国で用いられていたわけではありません。大航海時代、ヨーロッパ人がアジアをめぐる、各地域の伝統的な工芸技法で西洋式の調度品を作らせ、自国に持ち帰ったもののひとつなのです。昔と今のモノづくりを比較して見ていきましょう。

猪熊 このベッドカバーは中国・明時代のもですが、ヨーロッパ人がヨーロッパ向けにオーダーして作られたものなんですよ。

神 西洋の人々は、アジアの文化に興味を強く感じるのでしょうか。現在のファッション業界でも、着物の振り袖を洋風にアレンジするなどアジア特有の柄や形を取り入れる西洋人の有名デザイナーがたくさんいます。

猪熊 実はこういったアジアとヨーロッパの文化の融合は、約400年前の大航海時代からすでに行われていました。インドでもヨーロッパ向けにベッドカバーが作られていて、円と四角を組み合わせた基本的な構図は中国のものと同じことから、規格はヨーロッパ人から注文されたと考えられます。しかし図案には鳳凰がいたり、太湖石の上



に牡丹が咲いていたり、地域性が強く出ています。

太湖石
中国の太湖で採れる太湖石。刺繍は、実物と違ってカラフルですね。



コレが太湖石

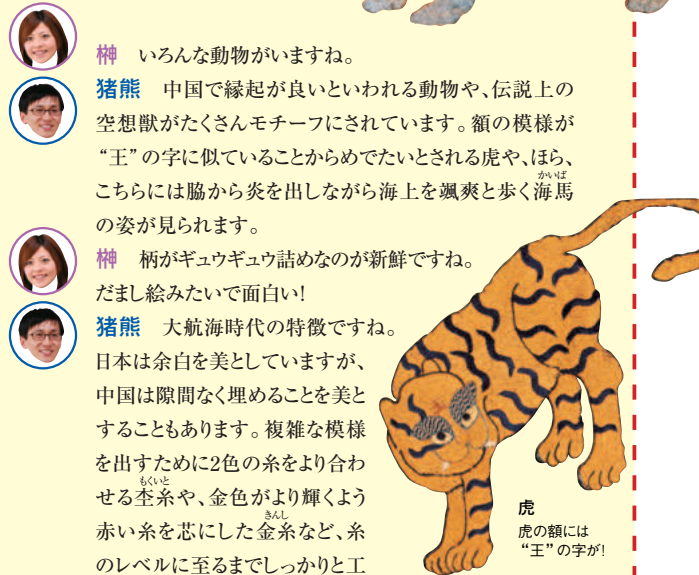
刺繍ベッドカバー

中国・明 16世紀～17世紀
虎や鹿、鳳凰や孔雀、海馬や白澤など、中国では縁起が良いとされる動物や空想獣がたくさん！当時の中国にいなかったとされる象の図案は西洋人からのリクエストで取り入れたものかも？
展示期間：～10/29まで



榊しおりさん
香蘭ファッションデザイン専門学校3年生。今年の香蘭サマーファッションコンテストでは福岡市長賞を受賞。博物館や美術館が好きで、作品からインスピレーションを受けることもしばしば。

企画調研究員 猪熊兼樹
専攻は日本美術史。アジアの中の日本という視線を持つ九博のスタイルに新たな楽しさを見出している。ミャンマーの動物占いにすると、守護動物は象。



神 いろんな動物がいますね。
猪熊 中国で縁起が良いといわれる動物や、伝説上の空想獣がたくさんモチーフにされています。額の模様は“王”の字に似ていることからめでたいとされる虎や、ほら、こちらには脇から炎を出しながら海上を颯爽と歩く海馬の姿が見られます。

神 柄がギョウギョウ詰めなのが新鮮ですね。だまし絵みたいで面白い！

猪熊 大航海時代の特徴ですね。日本は余白を美としていますが、中国は隙間なく埋めることを美とすることもあります。複雑な模様を出すために2色の糸をより合わせる空糸や、金色がより輝くよう赤い糸を芯にした金糸など、糸のレベルに至るまでしっかりと工夫されています。

神 同じ刺繍をクラス全員（40人）で作るとしたら半年以上はかかりそう。当時の人たちに驚異を感じます…。今までは西洋文化に強く関心があったのですが、この刺繍を見たら、中国やアジアのことも知りたくなりました！



海馬
海馬の背景には、青や水色で「海」が施されています。